

下水道を未来につなげる会 下水道展2017併催企画 体験型！水ビジネスワークショップ報告

このたび、8月1日から4日間開催された「下水道展 '17 東京」内の企画として、8月2日に「体験型！水ビジネスワークショップ ～水の未来について考えよう！～」を開催しました。

大学3年生から修士課程まで様々な年代の学生19名が集まり、下水道事業を最前線で担う国土交通省や自治体、コンサルタント、メーカーの若手職員がグループワークや歓談をともにしました。グループワークでは「見つけた技術が、なぜ、選択した使命を達成するにあたって魅力的なのか」各自の考えをプレゼンしました。独創的な切り口から様々な取り組みへの道筋が提示されたとともに活発な意見交換がなされ、イベントは盛況のうちに終了しました。



写真 イベント終了後に撮影した集合写真

1. 実施概要

イベント名：体験型！水ビジネスワークショップ ～水の未来について考えよう！～

日時：8月2日 10時～16時

場所：東京ビッグサイト会議棟 101 会議室

参加人数：大学、大学院生ら 19名（男 12名、女 7名）

実施内容：

- 下水道の仕事に関する特別講演（国土交通省宮本氏、埼玉県高坂氏）
- 省庁・自治体・民間企業職員とのランチミーティング
- グループディスカッション（趣旨説明メタウォーター羽山氏）
 - ・『新下水道ビジョン』の使命【RINGS：Resilience（強靱）・Innovation（価値創造）・Nexus（循環）・Global（国際）】からグループテーマを選択
 - ・下水道展内ブースを訪問、各自治体や企業が使命をどのように捉え、果たしているか学習
 - ・グループワークにて気づいたことをまとめ、今後あるべき取り組みや課題について議論
- グループ発表、各学生・アテンドによる投票、修了証授与

2. 実施成果、所感

一連のコンテンツを通して、なくてはならない下水道インフラの大切さや、そこに眠る資源の有効利用に向けた技術開発など、最新の技術も学ぶことができるワークショップとなりました。特に、下水道展という恵まれた環境を活かし、ブース見学を通じて下水道の魅力に気づくという機会を設けることでより理解が深まったと感じています。

学生の出身学科や学年も幅広い層の参加となり、学生同士や社会人との交流を通して学校生活では経験す

ることの少ない、貴重な経験となったという感想を多く頂きました。

実施したアンケートからは、「下水道界の印象が良くなった人の割合：100%」や「下水道にかかわる仕事や勉強をしたい人の割合：95%」という効果が確認され、当イベントは成功を収めることができました。このうち、今回のイベントをきっかけに下水道界の印象が良くなったという声が過半数を超えるなど下水道界の魅力をしっかりと伝えることに成功しました。

(まとめ)

- 土木や環境系学科だけでなく文系で学ぶ学生や、学部3学年から修士2学年までの幅広い層の学生に参加してもらうことで、学生同士の新鮮な交流となりました。
- 95%の学生から「下水道にかかわる仕事や勉強をしたい」というアンケート結果が得られ、このうち今回のイベントに参加したことがきっかけとなった人の割合は概ね5割にのぼりました。
- アンケート結果から、「大学にも講演に訪れてほしい」、「下水道のことを知らない学生は多いので広く知ってほしい」という意見がありました。
- 「下水道展ブース見学の時間をより多くほしい」という声もあり、各社の最新の技術や動向に興味があることがわかりました。

夏の試験期間中である為に集客に一定の課題を残しておりますが、大勢の学生に参加いただくことができ、かつ下水道界のPRに成功をすることができました。今後は地方展開（関西、九州）も含めて、未来会メンバー丸となって学生向けのイベント展開をさらに行っていきます。



写真（左）ブース見学の様子、（右）グループワークの様子



写真（左）発表の様子、（右）優勝したチーム日焼けのメンバー

(参考) アンケート結果 (速報値)

体験型！水ビジネスワークショップ～水の未来について考えよう～参加者アンケート結果まとめ

1. 出席者数 19名 回答数 18名
2. 大学所在 関東 17名 東北 2名
3. 学科等 土木系 8名 機会電気系 1名 環境・化学系 5名 文系 2名 その他 3名
4. 学年 B3 4名 B4 6名 M1 4名 M2 4名
5. 性別 男性 9名 女性 7名
6. アンケート回答

① 本日のイベントをお知りになったきっかけを教えてください。(1つ選択)

- ホームページを見て 0名
- 未来会の Facebook、Twitter を見て 0名
- 学校の掲示板 4名
- 先生・教授の紹介 10名
- 知人・先輩から聞いて 1名
- 水ビジネス業界インターンシップ&キャリアセミナーのチラシを見て 1名
- その他 2名(内定先からの案内)

② 本日のイベントに参加した理由を教えてください。(複数選択可)

- 下水道界に興味があったから。 9名
- 業界や企業の事業内容を知りたかったから。 10名
- 下水道展の見学に興味があったから。 5名
- 社会人と話す機会や他大学生との人脈を得るため。 5名
- その他 0名

③ 本日のイベントはいかがでしたか？(1つ選択)

- 満足 16名
- やや満足 2名
- やや不満足
- 不満足

理由の例

- ・いろんな分野の学生や社会人と話せてよかった。
- ・見学する時間をもっとあるとお良かった。
- ・話を聞きづらいところと一緒に回ることで各ブースの情報をより多く得ることができ充実した。
- ・焼肉弁当がおいしかった。
- ・ワークショップを通じて成長できた。また、仲間ができた。
- ・展示はやや難しかった。
- ・研究室ではできない体験ができた。
- ・自分で発表を行うことで技術が生まれる発想が課題からくことやその魅力を伝えることの大切さを学べた。

④ 本日のイベントの難易度はいかがでしたか？(1つ選択)

- 大変難しい
- 難しい 9名
- 普通 8名
- 易しい 1名
- 大変易しい

⑤ 本日のイベントに参加して下水道界の印象は良くなりましたか？(1つ選択)

- はい(今回のイベントをきっかけに印象が良くなった) 10名
- はい(これまでも良い印象をもっていた) 8名
- いいえ 0名

理由の例

- ・実際に下水道技術に触れることで印象が変わった。
- ・実際に社会人と接することができたのが良かった。
- ・思ったより多くの企業が関わっていて、就職先の選択肢の多さを感じた。
- ・将来性、未来を感じた。
- ・今回のイベントをきっかけにたくさん学ぶことができた。
- ・下水道には夢が詰まっている。
- ・業界の人がコミュニケーションをとっているということがわかった。
- ・水という生活の基盤を良い方向にもっていこうという姿勢に感銘を受けた。
- ・下水道には資源が眠っており、他分野とのノウハウを融合させることで新たな発展への可能性を感じた。

⑥ 本日のイベントの中で一番印象に残ったことは何ですか？

- ・ワークショップ 10名
- ・ブース見学 4名
- ・焼肉弁当 3名
- ・社会人や学生と交流した点 2名

⑦ あなたが感じた下水道界の魅力はなんですか？（複数回答可）

- 業界としての安定性（なくてはならないインフラであるため） 5名
- 将来性の大きさ（世界の水市場が拡大しているため） 11名
- 社会的使命の高さ（汚水処理や雨水管理を行い市民生活を支えるインフラであるため） 12名
- 意外性（ピストロ下水道や発電など資源・エネルギー利用をされているため） 3名
- 国際性の豊かさ（国際貢献しているため） 4名
- 広報の面白さ（マンホールカードや未来会、水の天使の活動など） 1名
- 仕事に幅広い業種があること 4名
- その他 0名

⑧ 本日のイベントに参加して下水道に関わる仕事や勉強をしてみたいと思いましたか？（1つ選択）

- はい（今回のイベントきっかけにしたいと思った） 7名
- はい（これまでもしたいと思っていた） 9名
- 思わない 1名（既に就職先が決まっている為）

理由の例

- ・下水道の研究をしているのでさらに学びを深めたいと思った。
- ・社会貢献度が高いと思う。
- ・安定性があると感じた。
- ・大学の専攻と異なる分野であったが自分が学べる、興味を感じる分野や事業があった。
- ・生活に必須の分野であるため。
- ・水の業界に就職する予定（M2の方）。
- ・わからないところも多いので視野を広げて勉強していきたい。

⑨ あなたが現在興味を持っている業種は何ですか？（複数回答可）

- 総合水会社 7名
- 建設・エンジニアリング会社 7名
- コンサルタント会社（調査、建設、経営、環境） 8名
- 機械・電機・化学・素材メーカー 6名
- 維持管理会社 4名
- エネルギー等その他インフラ（電力、ガス、水道、道路） 7名
- IT・通信・メディア 1名
- 商社 1名
- 公務員 4名
- その他 0名

⑩ その他、イベント内容や未来会が行う活動への改善点・ご感想などご自由にご記入下さい。

- ・ブースめぐりの時間がほしかった。
- ・イベントの詳細を事前にしりたかった（服装のことなど）。
- ・アイスブレイクの時間ももっとあればよかった。
- ・大学にも講演会で着て頂けるとうれしい。下水道のことを知らない人は多いので伝えるべき。
- ・今度は社員として参加したい。